

滋賀県近江八幡市のワイナリーで
農村交流体験をしませんか？

参加者募集中

募集期間：令和8年7月1日（水）～7月31日（金）

近畿農政局では、多くの方に農村について知り、関わってもらうための様々な取組を行っています。農業体験(6次産業化、地産地消)に関心があり、滋賀県近江八幡市のワイナリーでの体験を希望する大学生を募集します！
大学の枠を超えて、一緒に農業体験してみませんか？

参加申込はこちら▼



どんなことをするの？

体験実施日

令和8年 **8月28日（金）**（予備日9月9日（水））

募集対象者：滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県の大学生（先着40名程度）

応募方法：申込フォームへ必要事項を入力してください。

※参加に当たっての注意事項を裏面に記載していますので、必ず一読のうえ、申込してください。

体験内容：

8月に京都府立大学生命環境科学研究科 中村貴子准教授の6次産業化に関するレクチャーを受講したうえで、原料の収穫からワイン製造、販売まで一連の作業を手伝い、現場を体験することによって6次産業化の取組や食品の価格形成の仕組みを学びます。

8月日時未定

中村准教授の
6次産業化
レクチャー
(無料)

オンデマンド配信あり

8月28日（金）

(予備日 9月9日)

ぶどう
収穫体験
(無料)



ワイン
仕込み体験
(無料)

【自由参加】

11月末の土日の
いずれかを予定

ワイン販売体験
(ヌーヴォー祭り)



8月28日(金)のスケジュール（予定）

9:30	9:30～10:00	10:00～12:00	12:00～13:30	13:30～14:30	14:30～15:00	15:00
ワイナリー 集合	説明 ぶどうの収穫方 法、ワイナリー について	ぶどう収穫	休憩	ワイン仕込み	片付け	解散

体験場所：合同会社空色ワイナリー（滋賀県近江八幡市野村町778番）

後援：近江八幡市



問合せ先：近畿農政局 農村振興部 都市農村交流課

電話（直通）075-414-9065

アドレス kinki-kankeijinkou-toshinouseon@maff.go.jp

ご意見・ご質問がございましたらお気軽にご連絡ください！

注意事項

①参加申込について

- 参加募集を行うのはぶどう収穫、ワイン仕込み体験です。ワイン販売体験「ヌーヴォー祭り」は自由参加ですので、参加を希望する場合はぶどう収穫体験日にお伝えください。
- 雨天の場合は9月9日（水）に実施します。その際は前日の17時までに各参加者へメールでお知らせします。
- 8月中に実施する中村准教授のレクチャーを受講してください。（日時未定）
なお、日程が合わない場合は、オンデマンド配信を受講してください。
- 20歳未満の方は飲酒をしない旨の誓約書を提出してください。
- 当体験への申込で入手した個人情報につきましては、厳格な管理を行い、当体験以外の目的では使用いたしません。なお参加者名簿を作成し、当日の参加者へ共有いたしますのでご了承ください。

②費用について

- 参加は無料ですが、**現地への交通費及び保険料は自己負担**とします。
ワイナリーまで自動車を使用して移動される方は申込の際にお知らせください。
公共交通機関を使用される方はJR近江八幡駅に集合し、ワイナリーまでバスで移動します。
- 体験日について、各自必ずレジャー保険等に参加してください。わからない場合にはご相談ください。**
- 11月末の土日のいずれかに開催される「ヌーヴォー祭り」は参加費3,000円程度となります。（自由参加）

③持ち物、服装について

- 収穫に必要なハサミ等はワイナリーで貸し出します。
- 熱中症予防に帽子と水分補給用の飲み物をお持ちください。
- 暑いので汗をかいた場合に着替えを用意してください。
- 昼食はワイナリーでとりますので、各自準備してきてください。

④トイレ、着替えについて

- ぶどう畑にも簡易トイレはありますが、基本的にワイナリー（事務所）にあるトイレを使用すること。
- ワイナリーからぶどう畑までは徒歩で10分程度です。
- 着替えはワイナリー（事務所）で行います。

⑤その他の注意事項

- 体験の様子についてSNSで発信いただくことは可能です。ただし、自分以外の参加者が写っている場合は、必ず相手に確認の上、発信してください。

体験場所 合同会社 空色ワイナリー について

令和7年4月にオープンしたワイナリーです。
滋賀県近江八幡市で自社栽培した醸造用ぶどうを用いて
ワインとぶどうジュースを製造しています。



代表 三崎 清隆氏

空色ワイナリー



ぶどう畑

参加者へメッセージ

目的を持って参加いただきたいので、
事前にぶどう栽培や醸造に関する
質問を一人につき一つ考えて来て
いただきたいです。
ケガが無いよう、
作業は安全第一で取り組んでください。